

高浜市議場ディベート「まちへの想いがあふれる 議場に、感謝と未来へはばたくディベート大会」

たかはま夢・未来塾では、小学4年生から中学3年生の子どもたちを対象に、ロボットづくりやディベートや動画製作など、学校では学べない講座を地域や企業の協力を得ながら実施しています。

今回、講座の一環として、議場を使った公開ディベート大会を開催します。現議場でのディベートは最初で最後です。ここ数年間、全国大会に出場している子どもたちの姿をぜひご覧ください。



▲市長への全国大会出場報告

と き 10月23日(日) 午前9時30分～午後4時
ところ 議場(市役所5階)
その他 観覧自由(申込不要)

問合せ先 たかはま夢・未来塾 ☎87-7608 (月・火・木・金曜日 午前9時～正午)

中学生海外派遣団 ブルネイ・ダルサラーム国を訪問

異文化を理解し、国際的な視野を広げるとともに、高浜市や日本のよさを見つめ直すことを目的に実施している中学生海外派遣。今年は8月18日～25日に、高中生7人・南中生3人がブルネイ・ダルサラーム国を訪問しました。

ブルネイは、人口約40万人、東南アジアのボルネオ島北部に位置しているイスラム教国。

高浜市から三州瓦を輸出した縁から、愛・地球博(平成17年開催)の際にフレンドシップ国となりました。そこで、市では平成20年度から、毎年、中学生をブルネイに派遣しています。

生徒たちは三州瓦が使われている王宮、モスク、熱帯雨林や水上集落を見学したほか、学校での授業体験などをおして、現地生徒との交流を深めました。また、セレモニーでは、「ソーラン節」を舞い、「未来へ」「ふるさと」などの合唱を披露するなど、お互いの文化を紹介しあいました。

9月29日には、「帰国報告会」で各々の体験談や今後の抱負などを発表。ひと夏の貴重な経験が、きっと将来の糧となることでしょう。



▲交流会。「ソーラン節」の法被姿



of a school immersion programme hosted by SMB: One of the Japanese high school students guides together with their Japanese counterpart. Pictures: BT/Fazlul Hoqimie, courtesy of SMB

▲現地の新聞にも取りあげられました。

派遣団参加者の感想

★弘田うららさん(高浜中学校)

ブルネイでの日本の認知度はとても高く、日本語を話せる人もいます。たくさん話しかけてくれてとても温かったです。私も英語を話せるようになって、たくさんの人と話したいと思いました。ブルネイを出るとき、もっと居たいと強く思う海外派遣となりました。

★内藤千尋さん(南中学校)

あっという間に終わってしまった海外派遣でした。ホストファミリーは、とても優しく接してくれたので、楽しく会話をすることができました。ブルネイの壮大な自然を一望したり、ブルネイならではの料理を食べたりしたことも、忘れられない体験となりました。

問合せ先 両学校経営グループ ☎52-1111 (内線345)